

## 資料-2 佐渡市の地域概況

### 1 佐渡市の概要と位置

佐渡島は、日本海の中央にある国内最大の島であり、佐渡海峡を挟み、新潟港（新潟市）から 67km、直江津港（上越市）から 78km、寺泊港（長岡市）から 46km の海上に位置しています。

平成 16 年には、両津市、相川町、佐和田町、金井町、新穂村、畑野町、真野町、小木町、羽茂町及び赤泊村の 1 市 7 町 2 村が合併し、佐渡島全体が佐渡市となりました。佐渡市の東西南北端は資-表 1-1 に示すとおりとなっています。



資-図 1-1 佐渡市位置図

資-表 1-1 佐渡市の位置

方位	地名	東経	方位	地名	北緯
極東	佐渡市弁天崎	138° 34' 28"	極南	佐渡市新谷岬	37° 48' 09"
極西	佐渡市沢崎鼻	138° 12' 11"	極北	佐渡市二ツ亀島	38° 20' 18"

【資料：新潟県統計年鑑 2004】

注) 平成 15 年 4 月 1 日現在。経緯度数値は世界測地系による。

## 2 自然環境

### 2.1 地勢等

佐渡市の総面積は約 855km<sup>2</sup> であり、277km の海岸線を有しています。

北に大佐渡山地、南に小佐渡丘陵が縦走し、中央の国中平野には、島内で流域面積最大の国府川が流れ穀倉地帯を形成しています。

気候は海洋性の特性を有し、四季の変化に富み、夏は高温多湿ですが、冬は対馬暖流の影響を強く受けているため、比較的温暖で降雪量も少なく、平均年間降水量も全国平均や県内都市と比較すると少なくなっています。



## 2.2 気 象

佐渡の気候は、海洋性で変化に富んでいます。夏は高温多湿、冬は日本海を北上する対馬暖流の影響を受け雪はあまり降りません。

相川測候所の過去 30 年間の気象観測データ（資-表 2.2-1）によると佐渡市は、年平均気温は 13.6 であり、月平均気温で見ると、夏季の 8 月に 25.7 と最も高く、冬期の 2 月でも 3.4 となっています。また、本土の新潟市と比較すると、資-図 2.2-2 に示すとおり冬は暖かく夏は涼しい気候となっています。月降水量は 11 月に 155.6mm と最も多く、寒候期の 3 月に 91.8mm と最も少なくなっています。

月平均風速は、年間を通じて 2.7m/s から 8.3m/s の範囲にあり、年平均風速は 5.0m/s となっています。佐渡市では後述するように山間部、特に大佐渡地域においては、平野部に比べて強い風が吹いています。

年間の日照時間は 1,661.2 時間となっており、また、月間の日照時間は、暖候期にあたる 5 月と 8 月に各々 202.8 時間、214.7 時間と長く、寒候期にあたる 1 月、12 月に各々 51.9 時間、56.7 時間と短くなっています。

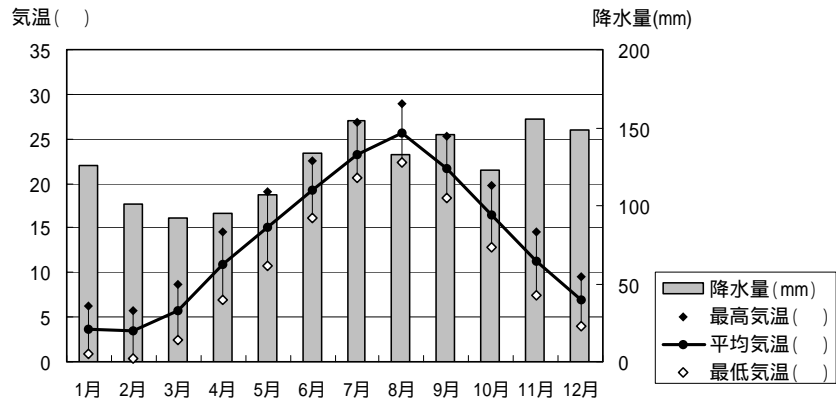
なお、佐渡市における過去約 45 年間の平均気温の推移を見てみると、上昇傾向にあります（資-図 2.2-5）これが温暖化の影響によるものかはわかりません。

資-表 2.2-1 佐渡市における気象状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間 合計	年間 平均
平均気温 ( )	3.6	3.4	5.8	11	15	19.3	23.3	25.7	21.7	16.5	11.3	6.9	-	13.6
最高気温 ( )	6.3	5.8	8.7	14.5	19.1	22.5	26.9	29	25.3	19.8	14.5	9.6	-	16.8
最低気温 ( )	0.9	0.3	2.4	6.9	10.7	16.2	20.6	22.3	18.4	12.9	7.5	3.9	-	10.3
平均風速 (m/s)	8.3	6.8	6.3	4.3	3.3	3.1	2.7	3.1	3.6	4.8	6.5	7.4	-	5.0
日照時間 (h/月)	51.9	71.3	136.8	182	202.8	168.4	177.1	214.7	152.2	151.4	96	56.7	1,661.2	138.4
降水量 (mm)	125.6	101.4	91.8	95.5	107.3	133.2	154.2	132.3	145.9	122.8	155.6	148.5	1,514.1	126.2
降雪の深さ 合計(cm)	64	58	16	0	0	0	0	0	0	0	1	18	159	13.1
積雪の深さ 最大(cm)	15	15	5	0	0	0	0	0	0	0	0	6	21	3.4

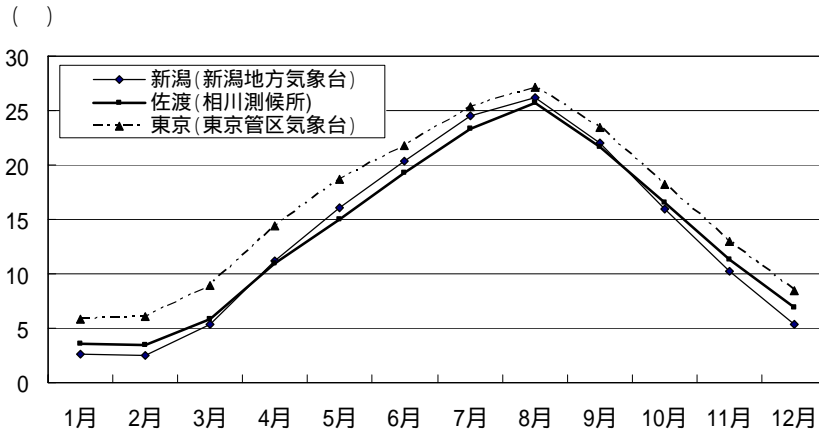
【資料：気象庁ホームページ（<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>）電子閲覧室】

注）気象庁新潟地方気象台相川測候所における 1971 年～2000 年の平年値（平均風速のみ 1971～2000 年の平年値）



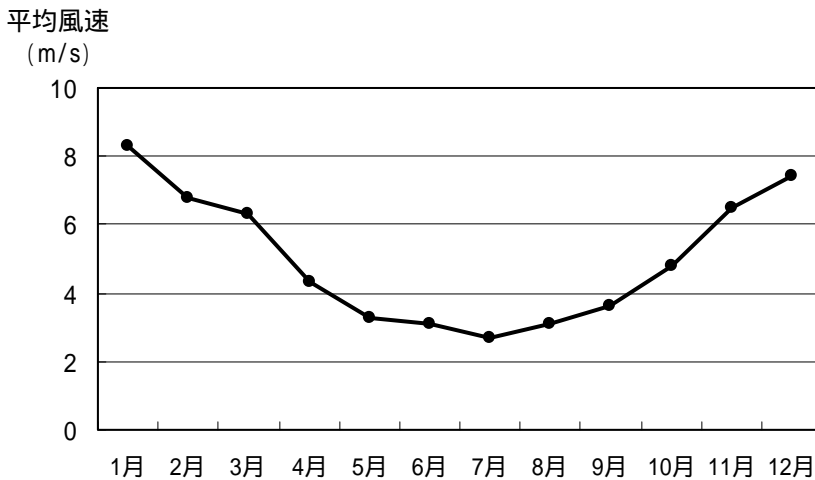
【資料：気象庁ホームページ (http://www.jma.go.jp/jma/index.html) 電子閲覧室】  
 注) 気象庁新潟地方気象台相川測候所における1971年～2000年の平年値

資-図 2.2-1 佐渡市における気温及び降水量 (1971年～2000年平年値)



【資料：気象庁ホームページ (http://www.jma.go.jp/jma/index.html) 電子閲覧室】  
 注) 気象庁新潟地方気象台相川測候所における1971～2000年の平年値

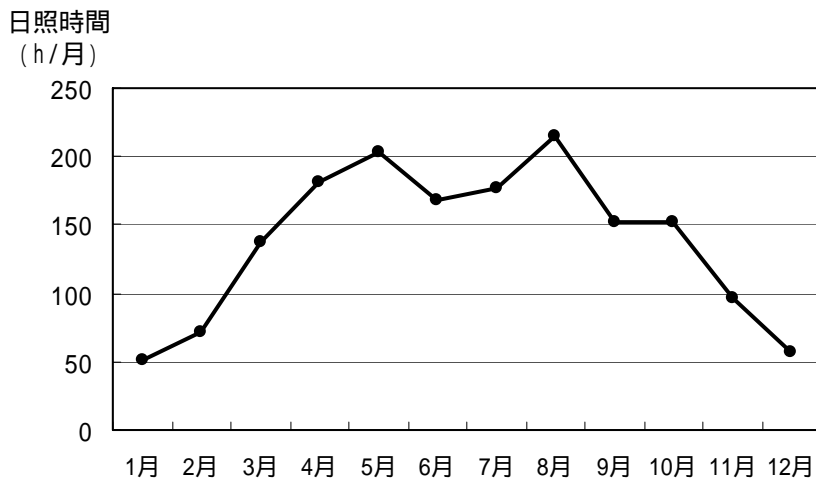
資-図 2.2-2 佐渡市と新潟市、東京との気温の比較 (1971年～2000年平年値)



【資料：気象庁ホームページ (http://www.jma.go.jp/jma/index.html) 電子閲覧室】  
 注) 気象庁新潟地方気象台相川測候所における1971～2000年の平年値

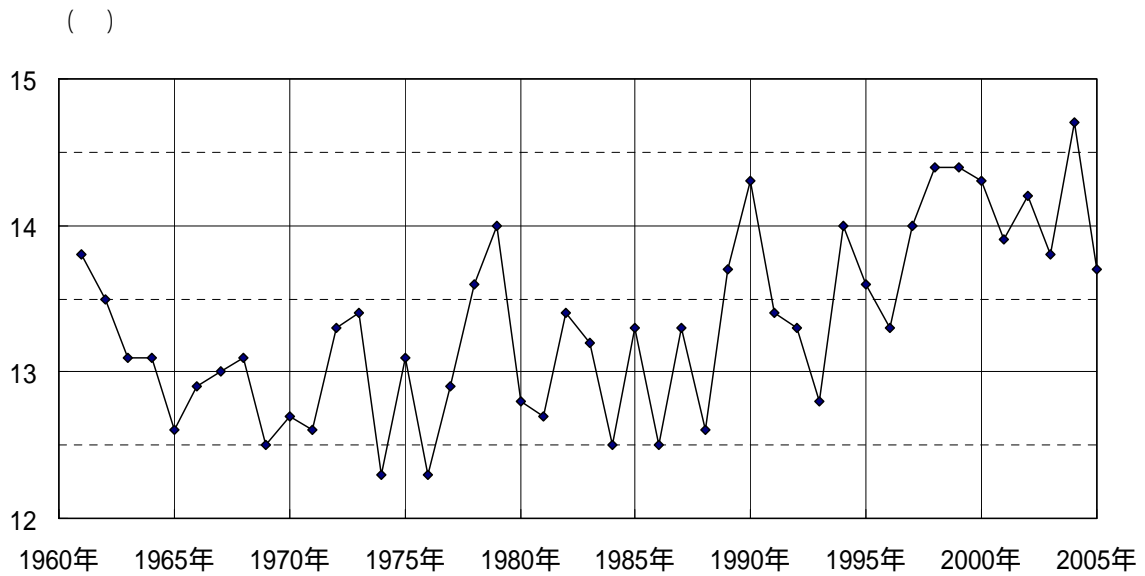
資-図 2.2-3 佐渡市における月平均風速 (1971年～2000年平年値)

資料-2 佐渡市の地域概況



【資料：気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>) 電子閲覧室】  
注) 気象庁新潟地方気象台相川測候所における 1971～2000 年の平年値

資-図 2.2-4 佐渡市における日照時間 (1971 年～2000 年平年値)



【資料：気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>) 電子閲覧室】  
注) 気象庁新潟地方気象台相川測候所における 毎年 の 値

資-図 2.2-5 佐渡市における平均気温の推移 (1961 年～2005 年)

### 3 社会環境

#### 3.1 土地利用

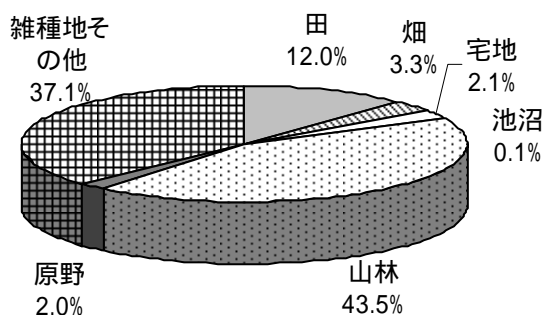
資-図 3.1-1 に地目別土地利用面積と構成比を示します。土地利用面積は、山林が最も広く 37,152.9ha と全体の 43.5% を占め、ついで雑種地その他 31,682.6ha で全体の 37.1% となっています。以下、面積の広い順に田 10,297.5ha で 12.8%、畑 2,778.8ha で 3.3%、宅地 1,774.7ha で 2.1% となっています。山林と雑種地その他の合計では全体の約 8 割の面積となり、緑の多いことがわかります。

なお、地目別土地利用面積では山林の占める割合は 43.5%（課税対象外の面積は含まれていない）となっていますが、後述する「3.7 林業」で示しましたように林野面積では市内面積の 74% に上り、森林資源の豊富なことが窺えます。

資-表 3.1-1 地目別土地利用面積と構成比（平成 16 年 1 月 1 日現在）

区分		田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地 その他	合計
面積	ha	10,297.5	2,778.8	1,774.7	59.0	37,152.9	1,752.5	31,682.6	85,498.0
構成比	%	12.0	3.3	2.1	0.1	43.5	2.0	37.1	100.0

【資料：新潟県統計年鑑 2004（新潟県市町村課「固定資産の価格等の概要調書」）】



資-図 3.1-1 地目別土地利用面積と構成比

### 3.2 人口・世帯数

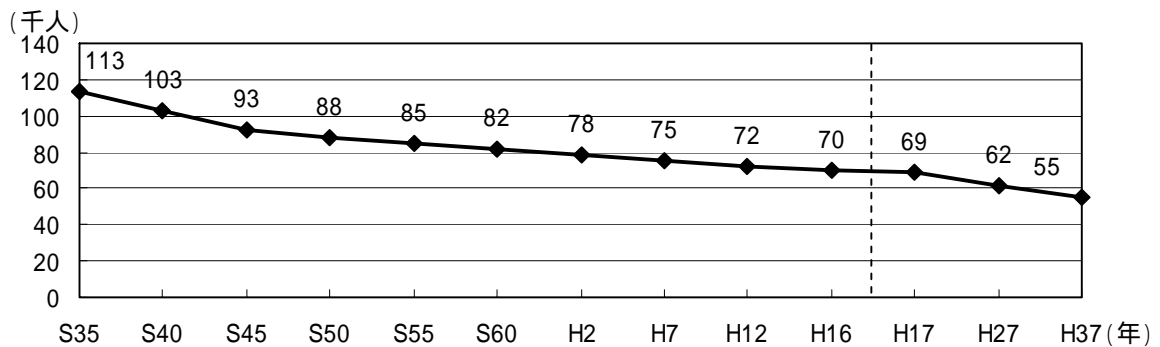
佐渡市の人口は、昭和 55 年には 84,942 人でしたが、緩やかな減少傾向にあり、平成 15 年に 70,015 人になりました。しかし、世帯数は、ほぼ横ばいで平成 7 年には 24,893 世帯でしたが平成 15 年には 25,425 世帯になっています。また、新市建設計画によると、将来人口の推計は現在の減少傾向がそのまま進むとの予測がなされています（資-図 3.2-1）。

年齢階層別の人口は、65 歳以上の老年人口が全体の 32.1%、15 歳未満の年少人口の約 3 倍と高齢化が進んでいるといえます。ただし、生産年齢人口は、全体の 54.8% と 2 分の 1 以上となっております（資-図 3.2-2 及び資-図 3.2-3）。

資-表 3.2-1 人口及び世帯数の推移

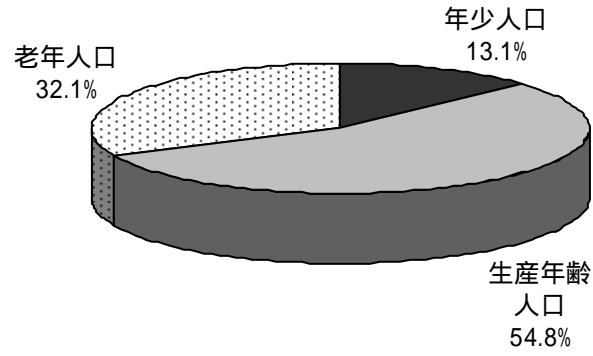
	人口（人）				世帯数 （戸）	世帯当たり人数 （人/世帯）
	男	女	総数	増加率（%）		
昭和 55 年	40,151	44,791	84,942	-2.9	-	-
昭和 60 年	38,663	43,276	81,939	-3.5	-	-
平成 2 年	36,737	41,324	78,061	-4.7	-	-
平成 7 年	35,460	39,489	74,949	-4.0	24,893	3.0
平成 12 年	34,488	37,685	72,173	-3.7	25,418	2.8
平成 15 年	33,381	36,634	70,015	-3.0	25,425	2.8

【資料：国勢調査、平成 15 年は住民基本台帳（平成 16 年 3 月 31 日現在）】

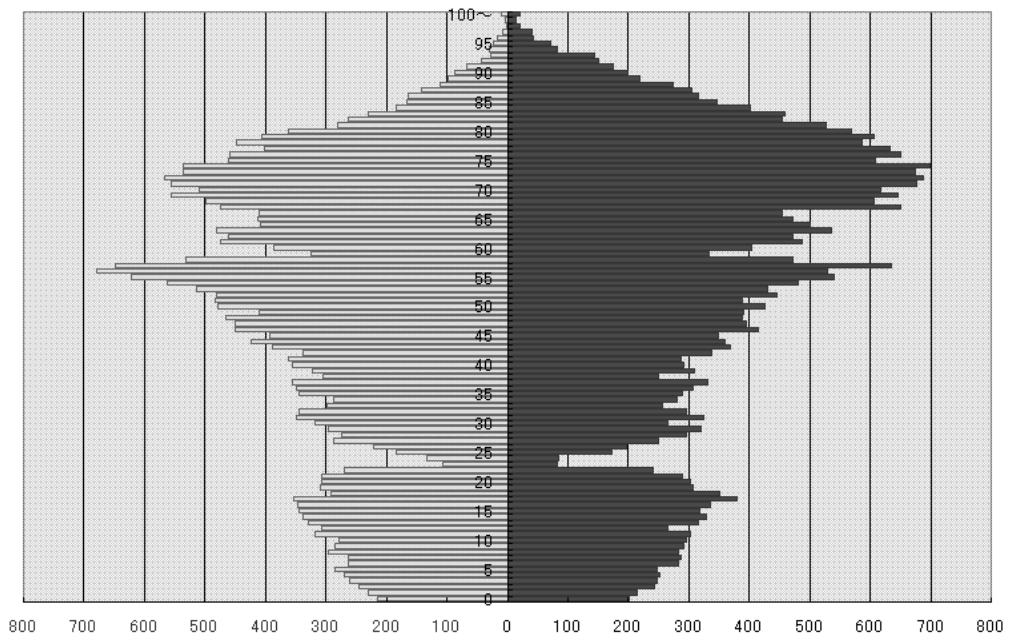


【資料：国勢調査。平成 15 年は住民基本台帳（平成 16 年 3 月 31 日現在）。平成 17 年以降の将来推計人口は新市建設計画。】

資-図 3.2-1 人口の推移



資-図 3.2-2 階層別人口 (%)



【資料：佐渡市ホームページ 平成 17 年 4 月 1 日現在 推計人口】

資-図 3.2-3 年齢別男女別人口



### 3.3 産 業

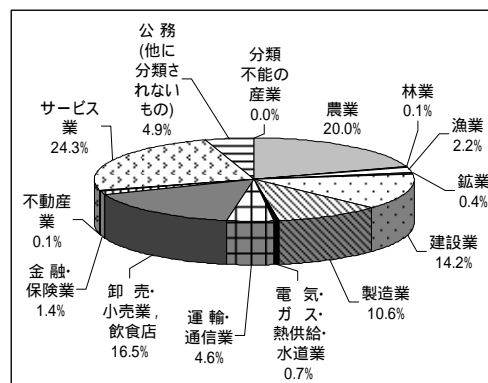
国勢調査によると、佐渡市における平成12年の産業別就業者数の総数は39,428人で、第1次産業は全体の22.3%、第2次産業が25.1%、第3次産業が52.5%となっており、第3次産業への従業者が最も多いことがわかります。第3次産業のうちサービス業が24.3%と大きな割合を占めており、ついで、卸売・小売業、飲食店が多くなっています。(資-表3.3-1及び資図3.3-1)

また、経年変化を見ると第2次及び第3次産業は大きな変化はありませんが、第1次産業の就業者数が年々減少しています。(資-図3.3-2)

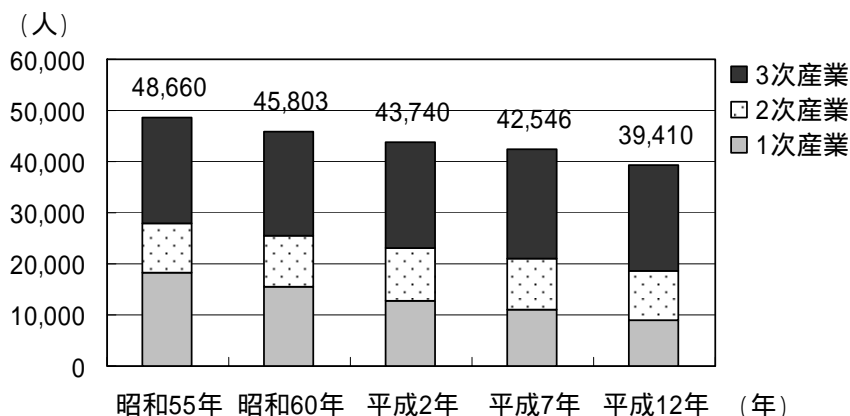
資-表 3.3-1 産業別就業者数（平成12年）

項 目	従業者数 (人)	構成比 (%)
第1次産業	8,803	22.3
農業	7,894	20.0
林業	56	0.1
漁業	853	2.2
第2次産業	9,911	25.1
鉱業	143	0.4
建設業	5,592	14.2
製造業	4,176	10.6
第3次産業	20,696	52.5
電気・ガス・熱供給・水道業	274	0.7
運輸・通信業	1,808	4.6
卸売・小売業、飲食店	6,509	16.5
金融・保険業	545	1.4
不動産業	56	0.1
サービス業	9,590	24.3
公務(他に分類されないもの)	1,914	4.9
分類不能の産業	18	0.0
合 計	39,428	100.0

【資料：平成12年国勢調査】



【資料：平成12年国勢調査】  
資-図 3.3-1 産業別従業者数

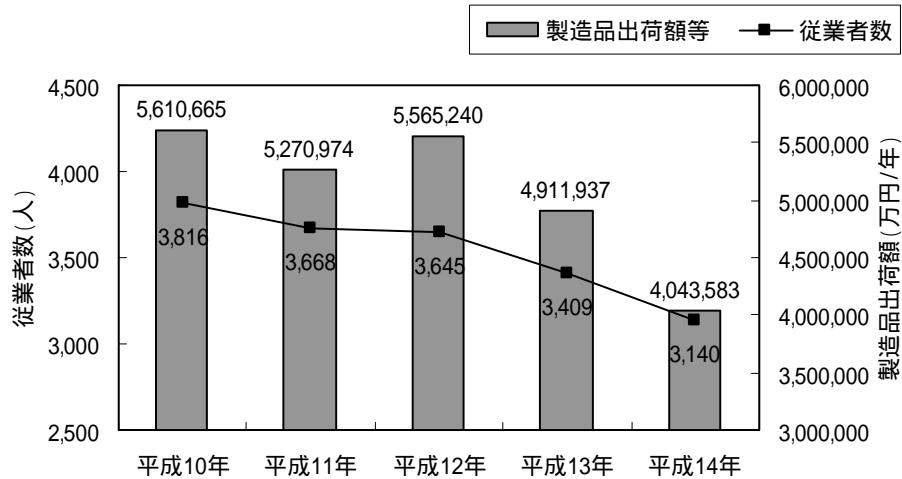


【資料：国勢調査】

資-図 3.3-2 産業別就業者数の経年変化

### 3.4 工業

工業統計調査によると、製造業の従業者数は、平成10年の3,816人から経年的に減少し平成14年には3,140人となっています。また、製造品出荷額は、平成10年には約561億円であったものが平成14年までに約404億円と約30%減少しました。

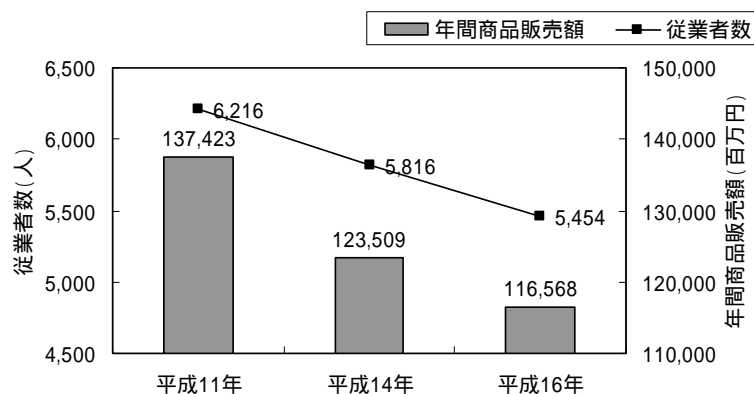


【資料：総務省統計局「工業統計調査」】

資-図 3.4-1 工業従業者数と製品出荷額の推移

### 3.5 商業

商業統計調査によると、商業の従業者数は、平成11年の6,216人から平成16年の5,454人と経年的に減少しています。また、同様に、年間商品販売額も、平成11年の約1,374億円から平成16年の約1,165億円に減少しています。



【資料：商業統計調査】

資-図 3.5-1 商業従業者数と年間商品販売額の推移

### 3.6 農 業

佐渡市では稲作が盛んであるため、農作物で収穫量の多いのは「稲」で、年間に約35,800 tとなっています。他の農産物も果物や大豆、いも類、野菜類なども収穫量が多く、農業が盛んです。

資-表 3.6-1 佐渡市の主な農作物の収穫量

(単位：t)

項 目	収 穫 量	項 目	収 穫 量
稲	35,800	根菜類	2,751
麦類	2	だいこん	2,080
豆類	564	にんじん	102
大豆	489	たまねぎ	569
小豆	75	果樹	8,933
いも類	2,870	りんご	261
かんしょ	462	日本なし	151
ばれいしょ	2,350	西洋なし	47
さといも	58	もも	31
そば	81	うめ	117
野菜類	1,458	かき	8,270
はくさい	410	くり	5
キャベツ	566	キウイフルーツ	51
ほうれんそう	56	飼料作物	7,666
レタス	11		
ねぎ	415		
果菜類	1,372		
きゅうり	389		
なす	403		
トマト	536		
ピーマン	44		

【資料：農林水産省「平成14年(産)作物統計調査」「平成14年工芸農作物調査」「平成14年産野菜生産出荷統計」「平成14年産果樹生産出荷統計」】

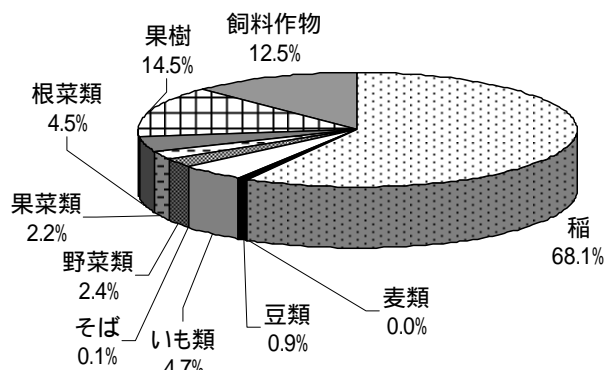
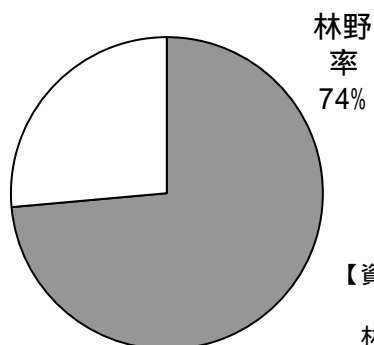


図 3.6-1 佐渡市の主な農作物の収穫量

### 3.7 林業

佐渡市は、資-図 3.7-1 のとおり林野面積が市全体の面積の 74%にのぼり、そのうち民有林が 96.2%、国有林は 3.8%（資-表 3.7-1 参照）となっています。

また、樹林地面積において、人工林が 24%であるのに対し、天然林は 76%を占めており、豊かな自然が残されていることがわかります。



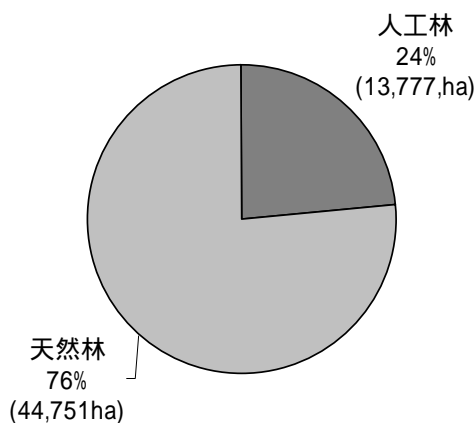
【資料：「2000年世界農林業センサス（林業編）」（農林水産省）より作成】  
林野率 = 林野面積 ÷ 総面積により求めた。

資-図 3.7-1 佐渡市の林野率

資-表 3.7-1 佐渡市の林野面積

	国有林			民有林				合計
	林野庁	その他官庁	緑資源公団	公有林	私有林			
(ha)	2,373	1,859	514	60,607	1,827	10,340	48,440	62,980
(%)	3.8	3.0	0.8	96.2	2.9	16.4	76.9	100.0

【資料：「2000年世界農林業センサス（林業編）」（農林水産省）】

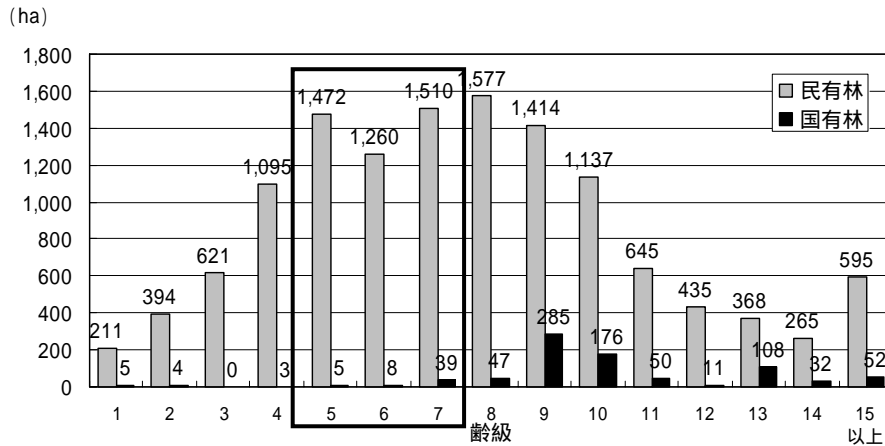


【資料：「2000年世界農林業センサス（林業編）」（農林水産省）】

資-図 3.7-2 佐渡市の人工林と天然林の内訳

佐渡市内の林齢別の人工林の様子は参-図 3.7-3 のとおりです。間伐の対象となる 5～7 齢級の面積は、合計で全体の 31%を占めています。

資料-2 佐渡市の地域概況



【資料：「新潟県森林簿」新潟県佐渡地域振興局 農林水産振興部  
「佐渡国有林の地域別の森林計画書(佐渡森林計画区)」(計画期間自平成16年4月1日至平成26年3月31日) 関東森林管理局】

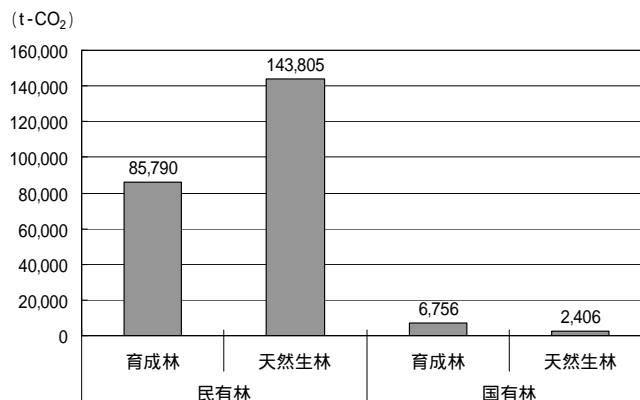
参-図 3.7-3 佐渡市森林の年齢別面積 (人工林)

佐渡市の森林における二酸化炭素の吸収量は、私有林及び国有林の合計で約24万t-CO<sub>2</sub>となります。種別毎では、面積の多い私有林での吸収量が多くなっています。ただし、森林がこの二酸化炭素の吸収効果を発揮するには、適切な森林の保全・管理がなされていくことが必要です。

参-表 3.7-2 佐渡市の森林における二酸化炭素吸収量

種別		面積 (ha)	1ha当りの炭素吸収量 (t-C/ha) 注1	炭素吸収量 (t-C)	二酸化炭素吸収量 (t-CO <sub>2</sub> ) 注2
私有林	育成林	13,219	1.77	23,397	85,790
	天然生林	43,577	0.9	39,219	143,805
	合計	56,796			229,595
国有林	育成林	1,041	1.77	1,843	6,756
	天然生林	729	0.9	656	2,406
	合計	1,770			9,162
合計		58,566			238,757

注) 1. 「平成14年度三重県型CO<sub>2</sub>排出量取引制度提案事業報告書」(平成15年3月、三重県)より  
2. t-Cからt-CO<sub>2</sub>への換算係数44/12を乗じた値。



【資料：「新潟県森林簿」新潟県佐渡地域振興局 農林水産振興部  
「佐渡国有林の地域別の森林計画書(佐渡森林計画区)」(計画期間自平成16年4月1日至平成26年3月31日) 関東森林管理局】

参-図 3.7-4 佐渡市森林の二酸化炭素吸収量

### 3.8 畜産業

市内には、牛の飼育が古くから行なわれており、現在は肉用牛の飼育が多く、飼養頭数は約1,000頭近く、また、乳用牛が628頭となっています。その他、養豚は1戸、養鶏は2戸の農家で営まれています。

資-表 3.8-1 佐渡市の畜産農家数及び飼養頭羽数

	飼養戸数 (戸)	飼養頭(羽)数 (頭、羽)
乳用牛	28	628
肉用牛	126	965
豚	1	x
採卵鶏	2	x
ブロイラー	...	...

【資料：農林水産省「畜産基本・予察調査・鶏ひなふ化羽数調査(平成15年2月1日現在)」、「畜産物流統計調査(平成15年2月1日現在)」】

注)「...」事実不詳又は調査を欠くもの、「x」秘密保護上統計数値を公表しないもの

### 3.9 漁業

佐渡市は、海に囲まれており、昔から漁業が営まれてきました。資-表 3.9-1 から、いか類の漁獲が特に多く、その他あじ類、ぶり類、貝類が多くなっています。また、養殖業においては、加茂湖での養殖が盛んなかき類が最も多くなっています。

資-表 3.9-1 佐渡市の主な魚種別漁獲量(海面漁業)

	魚種	漁獲量(t)		魚種	漁獲量(t)
1	いか類	1,709	11	たこ類	207
2	あじ類	976	12	とびうお類	178
3	ぶり類	789	13	たい類	138
4	貝類	716	14	ふぐ類	127
5	かに類	589	15	なまこ類	104
6	ほっけ	332	16	かつお類	86
7	たら類	296	17	さば類	76
8	海藻類	270	18	まぐろ類	64
9	かれい類	268	19	はたはた	59
10	えび類	253	20	しいら類	47

【資料：「平成15年新潟県漁業の動き 付、新潟農林水産統計年報(水産編)」(平成17年3月 北陸農政局新潟統計・情報センター)】

資-表 3.9-2 佐渡市の主な魚種別収穫量(海面養殖業)

	魚種	収穫量(t)
1	かき類(むき身(換算))	368
2	わかめ類	157
3	ひらめ	5

【資料：「平成15年新潟県漁業の動き 付、新潟農林水産統計年報(水産編)」(平成17年3月 北陸農政局新潟統計・情報センター)】

### 3.10 交通

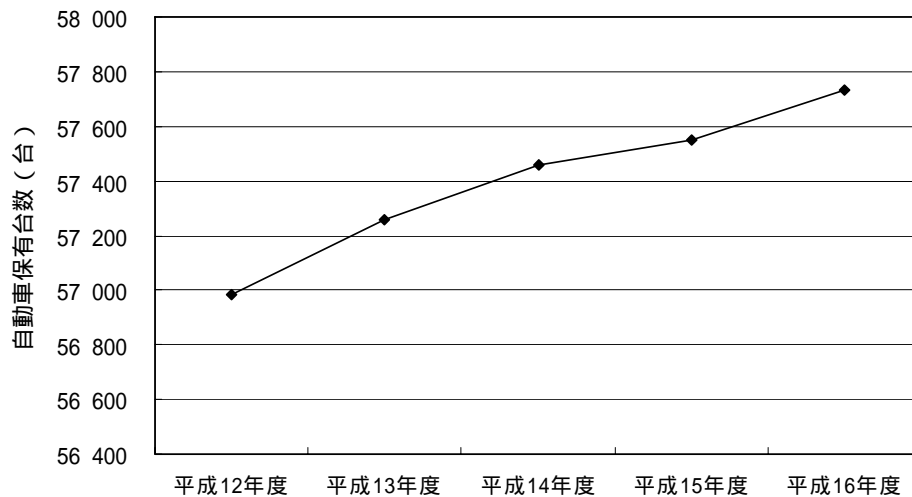
佐渡市における自動車保有台数を資-表 3.10-1 に示します。本市では年々自動車保有台数が増加し、平成 12 年に 56,985 台であったものが平成 16 年には 1.2%増の 57,730 台となっています。平成 16 年度の車種構成別台数をみると、軽自動車が 32,800 台と最も多く、全体の約 57%を占めています。

資-表 3.10-1 佐渡市における自動車保有台数

(単位：台)

年度	総数	登録自動車							小型 二輪車	軽自動車
		計	貨物用		乗合用 (普通車及び 小型車)	乗用		特殊車		
			普通車	小型車及び 被けん引車		普通車	小型車			
平成 12 年度	56,985	26,181	1,967	4,326	390	3,365	14,789	1,344	702	30,102
平成 13 年度	57,258	25,812	1,951	4,099	385	3,665	14,355	1,357	703	30,743
平成 14 年度	57,457	25,247	1,907	3,908	372	3,851	13,865	1,344	708	31,502
平成 15 年度	57,552	24,714	1,881	3,705	366	4,032	13,405	1,325	707	32,131
平成 16 年度	57,730	24,219	1,862	3,594	348	4,185	12,905	1,325	711	32,800

【資料：「新潟県統計年鑑 2004」】

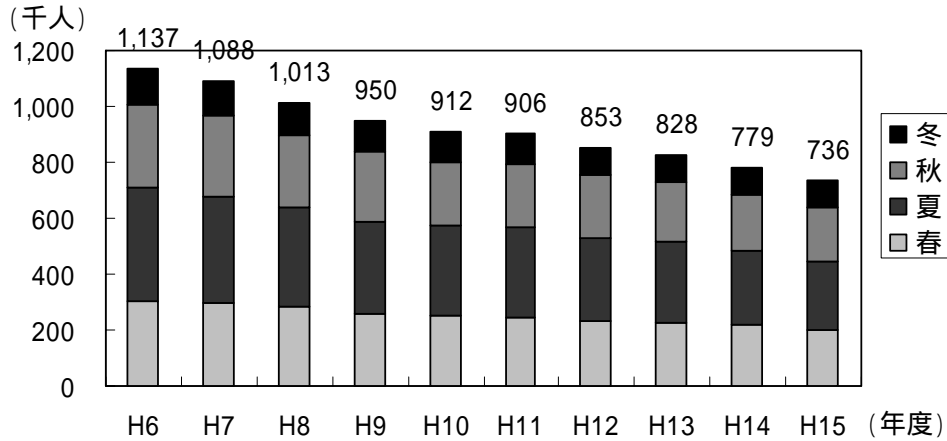


【資料：「新潟県統計年鑑 2004」】

資-図 3.10-1 佐渡市における自動車保有台数の推移

### 3.11 観 光

佐渡市における観光客数の推移を資-図 3.11-1 に示します。本市への観光客総数は、経年的に減少しており、平成 6 年の約 114 万人から平成 15 年には約 74 万人となっています。

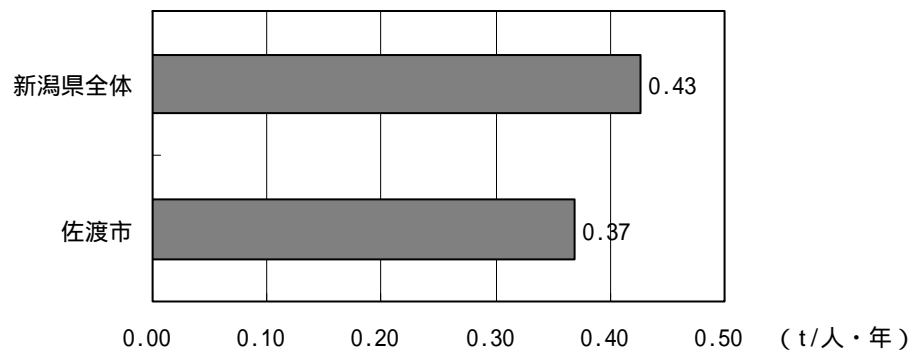


【資料：新潟県統計年鑑 2004】

資-図 3.11-1 観光客数の推移

### 3.12 環 境

佐渡市における年間の廃棄物量は、平成 16 年度では可燃ごみが 21,750t、不燃ごみが 808 t となっています。その他、資源ごみ等も含めて、1 人当りのごみの排出量を求めると 0.37 t/人年となり、新潟県全体における 1 人当りのごみの排出量 0.43t/人年よりも少なくなっています。



【資料：「佐渡市清掃事業の概要」(佐渡市環境保健課廃棄物対策係)、「新潟県統計年鑑 2004」】

資-図 3.12-1 1 人当りのごみの排出量



### 3.13 まちづくり

平成 16 年 3 月 1 日に 10 市町村の合併により誕生した佐渡市は、島全体が佐渡市というひとつの市となりました。佐渡市総合計画基本構想には「豊かな自然、薫り高い文化 活気あふれる新しい島づくり」という基本理念が示され、「自然と共生するまちづくり」をその基本方針の一つに掲げています。また、「環境の島・エコアイランド構想」のもと「人とトキが共に生きる島づくりの実現」を目指し、トキの野生復帰への試みを行ないながら、自然と人が共に生きる島づくりのために行政・市民・事業者とその協働による様々な取り組みを行なうことを宣言しています。

さらに、平成 16 年には「環境基本条例」(平成 16 年)が制定され、

環境の恵沢の享受と継承

人と自然の共生

環境への負荷の少ない循環を基調とする社会の構築

地球環境の保全推進

の 4 つの基本理念のもと、佐渡市の環境に対する基本的な取組姿勢が示されました。

同条例に基づき、佐渡市の環境に関する様々な取組や施策を総合的かつ計画的に推進するための「佐渡市環境基本計画」が、平成 17～18 年度にかけて策定中となっており、この計画との整合性をもった新エネルギービジョンの策定が重要です。

- ・ 佐渡市総合計画（平成 17 年 9 月策定）
- ・ 佐渡市環境基本条例（平成 17 年 3 月制定）
- ・ 佐渡市環境基本計画（策定中：平成 17～18 年度）

また、佐渡市では、以下の新エネルギー利用機器に対して助成を行っています。

資-表 3.13-1 佐渡市における新エネルギー利用機器への助成制度

対象設備	平成 16 年度導入実績
低公害車（電気自動車またはハイブリッド自動車）	4 台
住宅用太陽光発電設備	4 件（出力合計 16.96kW）
住宅用太陽熱高度利用設備 （給湯などに利用するソーラーシステム）	-
小規模風力発電設備（一般家庭用）	-